

# みのおサンプラザ外周及びその周辺のサイン等の検討

- ・みのおサンプラザ1号館の施設利用向上のための、動線上の視覚的なバリアを解消するためには、滝道からの来客動線を誘導する情報案内機能の向上と共に、みのおサンプラザの施設建物自体が箕面駅前の「顔」となるような存在感や景観性が必要であると思われる。
- ・これらのことをふまえて、みのおサンプラザ外周及びその周辺のサイン等の改良の検討のため、現状の問題点を整理する。

## 箕面駅前のインフォメーション



・現状では観光案内、メイプルホールの行事案内等のみであり、人が溜まる空間を活かした、みのおサンプラザ内施設、商店街のPR機能がない。

北西の角



・箕面駅方向からみのおサンプラザ1号館を見たアングル

南西の角（南北方向）



## みのおサンプラザ外周アーケード

- ・形状・色彩等が建物外観の色・質感とそぐわない。
- ・店舗のファサードが視覚的に遮断されており、店のディスプレイが遠目に分からない。



南西の角（東西方向）



## エントランスの外観及び、サイン



・現状ではサイン等の視覚効果に乏しい。入口がわかりにくく、やや閉鎖的な印象を与えている。

## 壁面サイン



・現状の誘導サイン、看板等は外観上の統一感や景観性に欠ける。

北東の角



南東の角



( はそれぞれの角度から見たアーケードの現状写真)

### 凡例（整備を検討すべき誘導サイン）

- 情報案内板
  - 視覚的誘導
  - 施設看板
  - 施設案内板
- ・美観を阻害せず、かつ確かな情報伝達ができる内容、デザインを考慮する。